



マダバ



2022-1 次隊 岡崎 友里

マダバの魅力を伝え隊！①



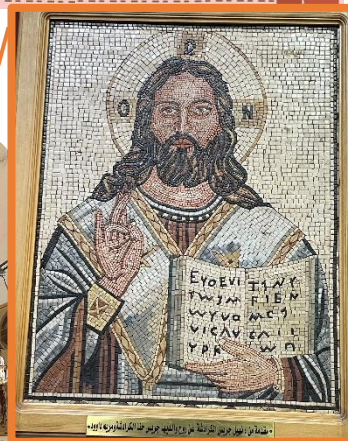
私が暮らすマダバ県は、たくさんの魅力があります！中でも、世界的にも有名な教会やキリスト教徒にとって聖地と言われる場所があり、イスラム教徒がほとんどのヨルダンでマダバにはキリスト教徒が多く生活する理由があるのです！これまでまだ詳しく紹介していませんでしたので、今回は、マダバの街や教会、ぜひ訪れてほしい場所について紹介します。

いざ書くとすると、魅力がありすぎて1回では収まりません…そのため、濃縮して数回に分けてなんとかお伝えしていきます。

まずは、マダバ県の中心街、観光客が多く訪れる場所から紹介します。私が生活しているのもこの周辺で、活気があり、生活に必要なものが揃うのはもちろん、おしゃれなカフェやレストランもあります。観光客が多く訪れるのは、やはり、教会！見どころは、モザイク画です。

モザイクとは、小さな欠片を寄せ集めることで絵や図、模様を表す装飾美術の技法のことです。材質はさまざま、石やガラス、貝殻、木などを使い、壁や床、工芸品に飾りを施します。歴史は古く、また世界各地で見られたため、たくさんの宗教画や幾何学模様などの作品が残っています。初めてモザイクと聞くとモヤモヤとした、曖昧でぼやけた作品を想像した人もいかもしれませんが、そのイメージとは異なる繊細かつ巧みな技術による装飾です。

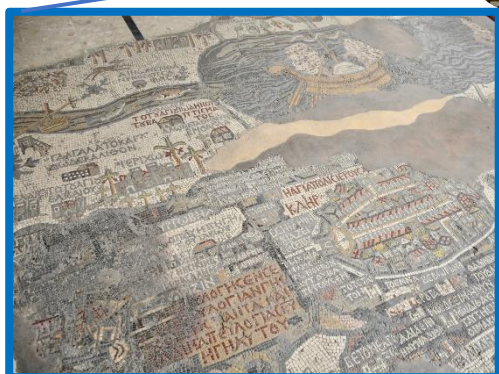
「聖ジョージ ギリシャ正教会」



壁や柱の至る所にモザイク画が飾られ、一つ一つ石の色や大きさ、並べ方によって細かい部分まで精巧に作られています。

そんな教会で、観光客が見つめる先は…床なんです！床には約1500年前の6世紀ごろの中東の地図がモザイクで描かれています。当時、教会の床を飾るモザイク画は、一般に都市や大きな建物を絵画的に表現しているものが多かったのに対して、このモザイク地図は珍しく一帯を上空から見下ろした構図で描かれています。

また、エルサレムにあたる場所に描かれた建物を実際に特定できたほど、正確な地図図としての価値も持ち合わせています。1884年に所々破損した状態で発見され、現在は推測される大きさ15.6m×6mの約4分の1部分を鑑賞できます。



かんこうとお
「観光通り」



レストランやお土産屋さんがずらっと並び、生絞りのザクロジュースが飲めるお店やマダバならではのモザイク画のマグネットや小物入れ、アクセサリーを取り扱うお店もあります。次の観光地までの移動に活躍するのが茶色のレンガ。これをたどって歩くと、別の観光地にたどり着けます。



せんれいしやせい
「洗礼者聖ヨハネ ローマカトリック教会」
きょうかい



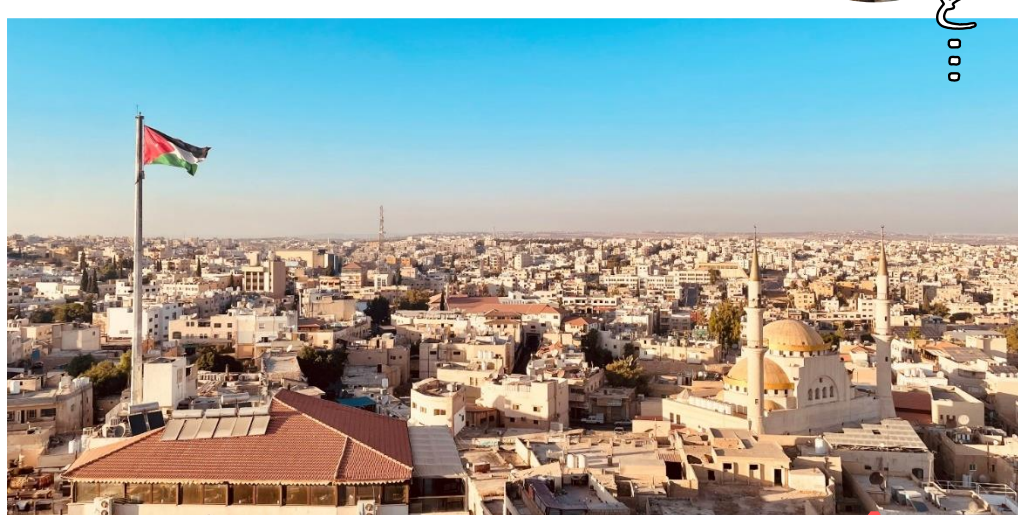
先ほどの教会から歩いて約15分のところにあります。より建物が大きく、内部の雰囲気も異なります。そして、おすすめの見どころは、教会の上下！下ると地下通路に地下室、井戸跡など、教会の下にこんなにも広い空間があったのかと驚かされます。また、鐘のある塔の階段を上ると、マダバの街を展望できます。ここから眺める景色が大好きで何度訪れても心が穏やかになります。



階段を下ると...



階段を上ると...



マダバは別名「モザイクの街」と呼ばれるほど、モザイクがとにかく有名です。ただ、今回はここまで...！次号でさらにその魅力について詳しく紹介していきます！

←この木、何の木？

実際にモザイク画作りに挑戦？！→

Let's talk in Arabic♪

のスペースがなくなりました...また次回！



教会のいくつかの地下室には、モザイク画が展示されています。



مع السلامة